

NANKAI REPORT

株主通信

2022.12



沿線ガイド

大阪府立 花の文化園 - 季節を彩る花々を愛でる休日。

南海高野線「河内長野駅」から南海バスに乗り、停留所「奥河内くろまろの郷」で下車。そして、停留所から徒歩約5分で到着するのが「大阪府立花の文化園」です。園内には、バラ園やクレマチス園、クリスマスローズガーデンなど、季節ごとに異なる表情を見せてくれる多彩なガーデンをはじめ、一年を通して見どころが尽きない大温室、イベントやワークショップが開催される広場やホールがあり、さまざまな花の魅力に触れることができます。

例年2月中旬から3月中旬には梅が見頃を迎え、白やピンクの可愛い花々が園内を彩ります。さらに、毎年梅園内には「こたつ」が設置され、温まりながらゆっくりと観梅を楽しむことができる「ヌクヌク梅見物」は人気のイベントです。ぜひ「花の文化園」で梅の花を眺めながら、ささやかな春の訪れを感じてみませんか。



‘なんかいね’があふれる



株主の皆さまには平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

「NANKAI REPORT(株主通信 2022年12月発行)」をお届けするにあたり、ひとことごあいさつを申し上げます。

2年以上にも及ぶ新型コロナウイルス禍によって、当社をとりまく経営環境は激しく変化し、依然として先行きの不透明な状況が続いております。足下では、政府による全国旅行支援や海外からの入国制限緩和などにより、国内における移動需要が徐々に回復しつつあるものの、本年度上半期の業績は、感染拡大の第7波による影響もあり、別掲のとおりと相成りました。なお、先に公表いたしておりますとおり、本年度の配当につきましては、中間配当を見送りとさせていただき、期末配当としてまとめて実施させていただく予定にしておりますので、株主の皆さまには、なにとぞご了承を賜りますようお願い申し上げます。

さて、当社グループでは、先が読み切れない環境にあっても、将来にわたり持続的な成長をめざすために、「南海が描く“2050年の企業像”」を設定し、その実現に向けた第一ステップとして、2022年度から2024年度までの3年間を対象とする中期経営計画「共創140計画」を策定し、各種取組みを推進しております。「公共交通事業の持続可能な経営」の実現に向けましては、当上半期にはVisaのタッチ決済利用可能駅の拡大や特急券付きデジタル乗車券の発売のほか、和歌山港線における自動運転の実証試験に向けた事前準備に着手するなど、デジタル技術の活用を加速・推進しております。なお、沿線人口の減少や新しい行動様式の定着などが進展する中、安全・安心と経営の安定性確保に必要な投資を維持していくために、去る10月28日、鉄道線では1995年以来28年ぶりとなる運賃改定を国土交通大臣に申請いたしました。また、「選ばれる沿線づくりと不動産事業深化・拡大」の取組みとして、私募リートへの組成に向けた準備を鋭意進めるとともに、既存の交通事業・不動産事業に続く第3の柱の創造に向けた「未来探索」のひとつとして、「eスタジアム株式会社」を設立し、沿線自治体などと共同して新たな施設の開業に取り組むなど、世界的にも注目されるeスポーツ事業の推進に注力しております。

当社グループをとりまく経営環境は、この先も厳しい状況が続くものと予想されますが、未来のありたき姿をまっすぐに見据えながら、役職員全員が一丸となって、鉄道事業をはじめとする既存事業の事業構造改革をさらにスピードを上げて推し進めるとともに、沿線自治体や事業パートナーなど、さまざまなステークホルダーとの共創・協働を強化することにより、持続的な企業価値の向上と持続可能な社会の実現を追求してまいり所存であります。なにとぞ株主の皆さまにおかれましては、なお一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



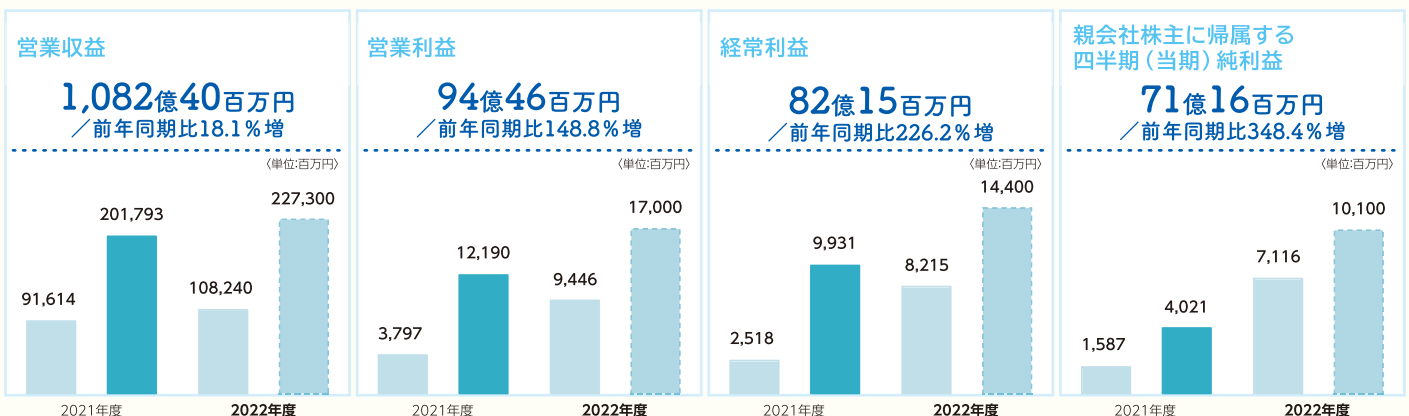
2022年12月

代表取締役社長 遠北 光彦

決算の概要

2022年度(第2四半期)連結決算の概要

■ 第2四半期 ■ 通期 ■ 通期(予想)



セグメント別業績

運輸業 (34社)

営業収益 / 463億35百万円 (前年同期比20.1%増)
営業損失 / 8億85百万円



鉄道事業やバス事業において、前年同期と比べ輸送人員が増加したことなどにより増収となり、損失幅は縮小しました。

不動産業 (5社)

営業収益 / 227億94百万円 (前年同期比22.2%増)
営業利益 / 66億57百万円 (前年同期比12.3%増)



不動産販売業においてマンション販売が増加したことなどにより、増収増益となりました。

流通業 (9社)

営業収益 / 118億24百万円 (前年同期比15.6%増)
営業利益 / 9億25百万円 (前年同期比140.6%増)



ショッピングセンターの経営において、前年同期に緊急事態宣言の発出に伴い商業施設(なんばパークス、なんばCITYなど)を臨時休館したことの影響などにより、増収増益となりました。



旅行業やポートレース施設賃貸業において、新型コロナウイルス感染症の影響が前年同期と比べ縮小したことなどにより増収となったものの、ビル管理メンテナンス業においてビルメンテナンス収入が減少したことなどにより、減益となりました。

レジャー・サービス業 (21社)

営業収益 / 183億12百万円 (前年同期比 5.0%増)
営業利益 / 16億24百万円 (前年同期比 7.8%減)

建設業 (4社)

営業収益 / 193億19百万円 (前年同期比 7.5%増)
営業利益 / 9億80百万円 (前年同期比50.3%増)

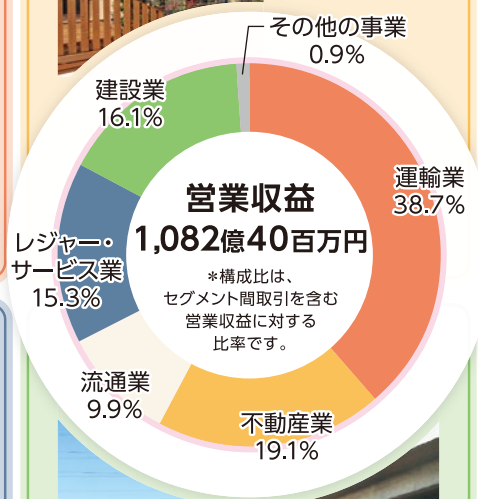


完成工事高の増加や利益率の改善などにより増収増益となりました。



その他の事業 (8社)

営業収益 / 10億80百万円 (前年同期比 4.7%増)
営業損失 / 49百万円

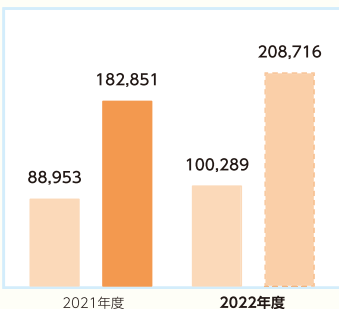


*セグメント別の会社数は、連結子会社、非連結子会社及び関連会社の合計を記載しています。なお、セグメントの分類上、当社及び泉北高速鉄道株式会社が重複して含まれています。

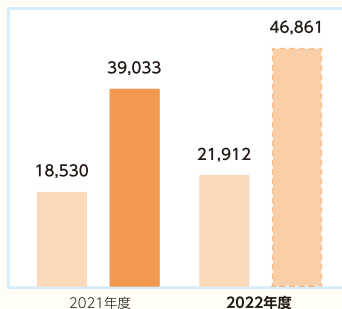
運輸成績 (個別)

第2四半期 通期 通期(予想)

輸送人員 (単位:千人)



旅客収入 (単位:百万円)



中間配当について

当社は、長期にわたる安定的な経営基盤の確保と財務体質の強化に努めつつ、収益のさらなる向上をはかることにより、株主の皆さまに対して、安定的な配当を行うことを基本方針としています。当期におきましては、依然として先行きの不透明な状況が続いている経営環境に鑑み、中間配当は見送りとさせていただきますが、期末配当として1株につき25円の配当を予定しています。

決算の詳細についてはこちら

🔍 南海電鉄 決算短信

検索



*業績・配当予想は、2022年10月31日時点で公表したものであり、実際の業績・配当はさまざまな要因により異なる可能性があります。予想に修正が生じた場合は、当社ウェブサイトなどで速やかにお知らせします。

eスポーツ×まちづくりで豊かな暮らしを!

当社は、中期経営計画「共創140計画」の未来探索として、eスポーツ事業を推進しており、エンターフォース株式会社の代表取締役社長である池田浩士氏との共同出資で、本年6月1日に「eスタジアム株式会社」を設立しました。

同社は、当社からeスポーツ事業の運営を受託し、eスポーツに関する「施設運営事業」、「大会イベント事業」の運営を柱として事業を推進しています。



「eスタジアム」とは?

商業施設にて営業し、店内のゲーミングPCによるeスポーツ体験を通じて、より多くの人にeスポーツに親しんでいただくための施設です。イベントの開催やゲーム関連グッズの販売も行い、「会員数No.1のeスポーツ施設」をめざしています。

営業中の施設 (2022年12月1日現在)

▶ eスタジアムなんば Powered by NANKAI
(なんばスカイオ2階)

▶ eスタジアムいずみ (エコール・いずみ 東館1階)

▶ eスタジアム泉佐野 (りんくうタウン駅 りんくうパビリオ2階)

▶ eスタジアム佐賀 (モラージュ佐賀 南館2階)

泉佐野市との共創

1

▶ eスポーツに関する大会・イベントの企画運営

本年8月、「eスポーツ先進都市・泉佐野」の確立をめざす第一弾企画として、高校生を対象とした3泊4日のeスポーツ合宿「eスポーツキャンプ」を実施し、全国から44人の高校生が泉佐野市に集まりました。

チーム単位での練習後に大会を開催したほか、eスポーツプレイヤーに人気の動画配信者や現役プロ選手を大会の実況・解説、ゲストとして招待し参加者へのアドバイスを行うなど、格別な体験をお届け。参加者からは「プロのeスポーツプレイヤーになりたいという想いが一層強くなった」「合宿のチームメイトとの交流を通じ、最高の時間を過ごせた」、保護者の皆さまからは「参加させて本当に良かった」「子どもとの会話が增えた」といった喜びの声を多数いただきました。



2

▶ eスポーツ施設の整備・運営

本年11月には、「eスタジアム泉佐野」を開業しました。学生の大会や配信イベントなどを開催し、幅広い年代の方に親しまれる施設をめざします。

また、泉佐野市がもつ全国有数の「高い交通の優位性」といったポテンシャルを活かし、同市を訪れるお客さまが国内外問わず交流できる拠点づくりに取り組んでいきます。



eスタジアム泉佐野 外観イメージ



今後も地域の皆さまや関係各社との共創により、eスポーツを健全なスポーツとして成長・成熟させ、文化として昇華させるとともに、当社のまちづくり関連のノウハウを活かして、さまざまな社会課題の解決に尽力し、豊かな暮らしの実現をめざしていきます。

「『秋のわくわくお仕事体験!南海沿線』～やってみたい!を育てよう～」を開催しました



本年9月23日から10月23日までの期間中、「『秋のわくわくお仕事体験!南海沿線』～やってみたい!を育てよう～」と銘打ち、当社や沿線自治体、企業、団体及び学校主催の計21の「お仕事体験」を南海沿線で実施し、お子さまの“好奇心の芽”を育む機会を提供しました。

その中のひとつ、当社鉄道研修センターの設備を活用した「鉄道学校～見る・聞く・触れる～」では、小学生のお子さまを対象に、券売機・自動改札機の仕組み、電車の扉操作や案内放送、線路の仕組みを勉強し、鉄道のお仕事を体験していただきました。

当社では、このように、子育て世代をターゲットにした沿線価値向上施策「家族にえがお+1プロジェクト～“あったらいいな”がある沿線～」により、「子育てをするのが楽しいまちづくり」に取り組んでいます。子育て世代の方々に、南海沿線に対して、愛着、親しみ、面白さを感じていただくことで、将来的な定住へつなげるべく、今後もさまざまな取組みを展開していきます。



株主ご優待制度

株主ご優待制度の詳細については、当社ウェブサイト (<https://www.nankai.co.jp/>) でご案内しています。

次のとおり株主ご優待証類を贈呈いたします。

優待内容 所有株式数	6回乗車 カード	定期券式乗車証	
		軌道・バス 割引付	
200株以上 1,000株未満	1枚	—	—
1,000株以上 2,000株未満	2枚	—	—
2,000株以上 4,000株未満	3枚	—	—
4,000株以上 6,160株未満	5枚	—	—
6,160株以上 10,220株未満	1枚	1枚	—
10,220株以上 40,000株未満		—	1枚
40,000株以上 100,000株未満		—	2枚
100,000株以上 200,000株未満		—	3枚
200,000株以上 2,000,000株未満		—	5枚
2,000,000株以上		—	10枚

大阪府みどりの基金(共生の森づくり基金)への寄付について(ご報告)

2022年4月から9月までに、株主さまから452枚の6回乗車カードをご返送いただきましたので、当社において、苗木1,356本分相当額を寄付いたしました。たくさんの寄付制度のご利用ありがとうございました。

「大阪府みどりの基金(共生の森づくり基金)」への寄付をご希望される場合、6回乗車カード(有効期間内、6回未使用に限る。)をご返送下さい。カード1枚につき苗木3本分相当額を当社から同基金に寄付させていただきます。

贈呈時期及び有効期間

資格確定日	贈呈時期	有効期間
3月31日	6月下旬	7月11日～翌年1月10日
9月30日	12月上旬	翌年1月11日～7月10日

6回乗車カードは、お手許に届いた日からご利用いただけます。

送付方法

200株以上6,160株未満ご所有の株主さま	普通郵便でお送りします。
6,160株以上ご所有の株主さま	簡易書留郵便でお送りします。

左記のほか、毎年3月31日の最終の株主名簿に基づき100株以上ご所有の株主さまに「株主ご優待チケット」(当社グループの施設などで優待サービスを受けていただけるチケット冊子)を贈呈します。(毎年6月下旬発送予定)

会社法
改正により

2023年3月以降に開催する株主総会から

株主総会資料の電子提供が開始されます

今までは



これからは



主な変更点

- 株主総会資料の全文は当社ウェブサイトアクセスすることでご確認いただけます。
 - 当社ウェブサイトへのアクセス方法などを記載した招集ご通知 (通知書面) をお送りします。
- ※ 議決権行使書は今までもどおりお送りします。
※ 2023年3月以降も、株主総会資料の一部を書面でお送りする場合があります。
※ 株主優待や配当金関係書類は今までもどおりお送りします。

⚠ インターネットのご利用が困難で、今までどおり株主総会資料の書面での郵送をご希望される場合、書面で受領するためのお手続き (書面交付請求) が可能です。

Q 書面交付請求の期限は？

A 株主総会の基準日までにお手続きを完了いただく必要があります。
(例: 2023年6月開催の定時株主総会の場合、2023年3月31日までにお手続きの完了が必要です。)

Q 書面交付請求の方法は？

A お取引のある証券会社又は株主名簿管理人へお問い合わせ下さい。
※ 一度書面交付請求をいただければ、以降の株主総会書類は書面にてお送りしますが、当社から書面交付の終了を通知することがあります。その場合、継続の意思をご返信いただくことで、書面交付を継続します。



本制度について
詳しくはこちら

書面交付請求に関するお問い合わせ先

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

 **0120-533-600** 受付時間 9:00~17:00 (土・日・祝日を除く)

株主メモ

株式に関する各種手続は、お取引のある証券会社又は株主名簿管理人にお問い合わせ下さい。

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会/3月31日 期末配当/3月31日 中間配当を行う場合/9月30日 その他必要がある場合/あらかじめ公告して定めた日
公告方法	電子公告
公告アドレス	https://www.nankai.co.jp/ir/stock/announcement (事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行う)

株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	 0120-782-031 受付時間 9:00~17:00 (土・日・祝日を除く) https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/

マイナンバーお届出に関する
お問い合わせ先のご案内

株式の税務関係の手続き (税務署への配当金に関する支払調書の提出など) において、株主さまのマイナンバーが必要になりますので、お取引のある証券会社などへお問い合わせ下さい。

南海電気鉄道株式会社

〒556-8503 大阪市浪速区敷津東二丁目1番41号 総務広報部 06-6644-7121
<https://www.nankai.co.jp/>

証券コード 9044



UD FONT
見やすいユニバーサル
デザインフォントを
採用しています。